



公益財団法人JKA補助による 2025 年度福祉機器の整備事業の自己評価について

補助事業に係る自己評価を行いましたので、下記のとおり公表いたします。

日 時 : 令和 7 年 9 月 1 6 日 (火)

場 所 : 同人棟リビング

構成員 : 管理者、生活相談員、介護支援専門員、看護師、各フロア主任

主任より、事業の経過について説明があり、各フロア主任より運用開始後の使用状況について報告した後、参加者全員で事業の達成状況について評価基準に基づき評価を行った。

1. 事業内容

・実施計画・体制について (4 点)

機種選定委員会では、実際に介護に従事する職員の意見を取り入れ、当施設の利用状況に適した機種を選定することができた。

業者選定手続きでは、役員会の承認を経て指名業者を選定し、見積もり合わせを実施したところ事業費が減額できた。

2. 達成目標

・事業の実施結果について (5 点)

機器導入までの流れはスムーズに進行でき、当初の予定より早い 8 月 19 日に機器の設置・検収が完了したため、早く運用を開始することができた。

・事業の成果・波及について (4 点)

座位の保持が困難な方など、これまでの浴槽では入浴できなかったご利用者様にも、寝たままの姿勢で安心してゆっくり湯船に浸かって入浴ができる環境が整った。また、介助する職員の身体的負担も軽減された。

3. 情報発信

事業の実施結果 (4 点)、競輪補助金による事業であることの情報発信 (4 点)

法人ホームページに、公益財団法人 J K A の補助により特殊浴槽を導入した旨の記事を掲載した。

また、施設の広報紙にも特殊浴槽を導入した記事を紹介し、いずれも J K A の機械振興事業の補助を活用していることを明示した。

4. 自己評価の体制 (4 点)

管理者、生活相談員、介護支援専門員、看護師、各フロア主任で構成する評価委員会を開催し、自己評価を行った。

6. 総合評価 (4点)

事業が採択されてから、完了に至るまで、特に阻害となる要因はなく、スムーズに進行できたため、当初の予定より早く設置、運用を開始することができご利用者様に喜んでいただいていた。

座位の保持が困難なご利用者様など、従来の浴槽では入浴できなかったご利用者様にも、寝たままの姿勢で安心してゆっくり湯船に浸かった入浴ができるようになり、介護職員の身体的負担も軽減された。